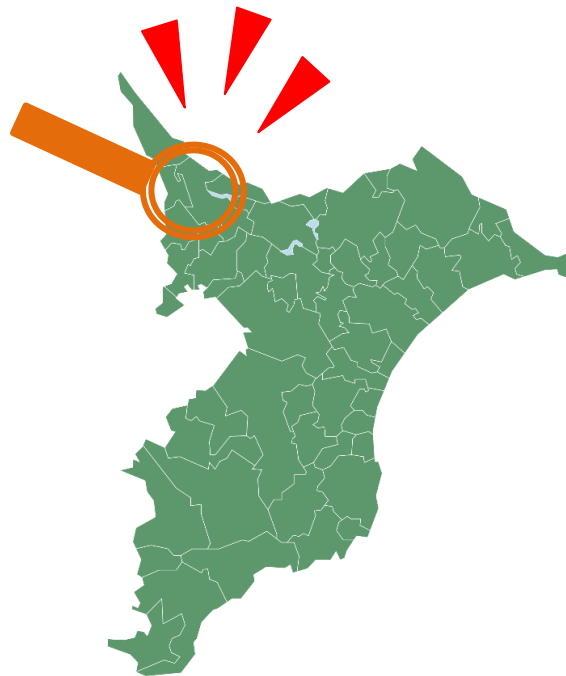


2023・8

柏の景気情報

令和5（2023）年8月の調査結果



柏商工会議所

The kashiwa Chamber Of Commerce and Industry

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所

〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18

T E L : 04-7162-3305

F A X : 04-7162-3323

U R L : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>

E - m a i l : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報 (令和5年8月の調査結果のポイント)

★調査結果のまとめ

回答期間: 令和5年8月18日～令和5年9月4日 調査対象: 柏市内156事業所及び組合にヒアリング、回答数88

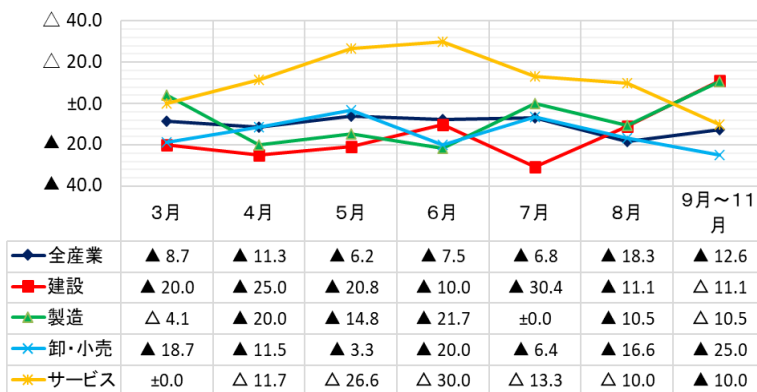
各地4年ぶりに制限のない夏祭り・花火大会で地域に賑わいが見られる、その裏では電気やガソリン代節約などの企業努力あり

8月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲18.3(前月水準▲6.8)となりマイナス幅が11.5ポイント拡大した。

全業種に共通して、材料費や人件費・エネルギーコスト上昇で利益圧迫の状況が続いている。コスト増加分を売価へ転嫁する動きが徐々に浸透してきているものの、長期化する物価上昇により先行き不安の声が聞かれる。また、海外経済の動きから在庫調整や出荷量調整で売上が減少しているとの声も一部であがっている。

インボイス制度・電帳法改正の開始まで秒読みとなり、社内DX化に向けたコメントも多数寄せられた。

柏の景気情報・産業別業況DI



★業種別の動向

前月と比べたD I 値の動き



改善



横ばい



悪化



建設業

「工事受注額が高額になった反面、材料費や燃料費の高騰による打撃は大きい。協力業者からも必要経費として請求されるため、要求に応じなければ仕事を請けてもらえず受注額が増加しても利益は不変となってしまう」(塗装工事)「人手不足が大きく仕事に影響。やっとの人数でまわしているため、新しく仕事が増えるのは嬉しい悲鳴だが、人手不足で手をつけられないのが現状」(とび)「猛暑で作業中断や、休憩時間を長めにするためペースダウンは致し方ないが、人件費が増加」(電気工事)「太陽光設備によって、好天気であれば自家発電でまかなえている。余剰電力をEV自動車へ充電する計画を進めている」(一般土木建築工事)



製造業

「売上が上がっても人手不足のために外注をフル活用しており、利益がそれほど確保できない」(一般産業用機械・装置製造)「ユーザーの在庫調整で売上が減少し、数ヶ月続く予測で厳しい状況」(その他の鉄鋼業)「新工場の計画をしているが土地高騰で大変。国際情勢が安全面・経済面共に不安定化しているため、細心の注意が必要」(一般産業用機械・装置製造)「材料費や電気料金、燃料費の高騰に対する値上げが追い付かず対前年比売上げは伸びているが、利益は変わらない状況が続いている。更に売上を伸ばす一方で、コストアップ分の値上げと生産性の向上が急務となっている」(自動車付属品製造)「利益を確保するため仕入に工夫が必要であり、社内5Sを進めて無駄をなくし働きやすい職場を目指す」(金属製品)



卸・小売業

「アパレルや旅行関連を中心に引き続き堅調に推移するも、酷暑影響もあり入店客数推移が鈍化傾向。コスト高・人手不足も続き、先行き不安」(百貨店)「数年ぶりに制限のない夏季休暇となったが観光需要があまりないため、物販の売上は下がったイメージ。主原料の値上げ以外にも様々なものが値上がりし、決算まで黒字なのか赤字なのか分からなくなってきた」(食料卸売業)「ガソリン代高騰による旅費交通費や輸送費負担の影響が大きく、無理のない範囲で車内のクーラー使用を控えて節約する時がある」(飲料品小売)「暑さや旅行などで買物客が減少。購買意欲は戻ってきており秋冬に期待」(その他の各種商品小売)



サービス業

「諸仕入れ、建築費の値上がりが続く、売り・買いの問い合わせも減少。暑さの影響もあり、人の動きが少なく全体的に低調している」(不動産管理)「西日本ほどではないが、書き入れ時期であるお盆のタイミングでの台風は、急な雷雨などが影響して客足は予想していたよりも少なかった」(飲食店)「夏期講習の時期は新規入会者も増加。最大限の科目受講者と最低限の科目受講者の二極化している印象。生徒の希望というより、家庭の経済事情が強く反映されていると感じる」(学習塾)

★全国の商工会議所早期景気観測調査(CCI-LOBO)との比較

全産業合計では、「柏の景気」が▲18.3に対し、「CCI-LOBO」が▲8.9で、柏のほうがマイナス幅が9.4ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、卸小売業である。

今月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI - LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI ≥ 50	好調 50 > DI ≥ 25	まあまあ 25 > DI ≥ 0	不振 0 > DI ≥ ▲25	極めて不振 ▲25 > DI
業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 18.3	 ▲ 11.1	 ▲ 10.5	 ▲ 16.6	 10.0
CCI-LOBO	 ▲ 8.9	 ▲ 18.8	 ▲ 5.6	 ▲ 12.7	 3.4
売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 5.6	 ▲ 11.1	 ▲ 15.7	 8.3	 50.0
CCI-LOBO	 7.3	 ▲ 7.0	 9.4	 4.7	 20.2
採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 23.9	 ▲ 27.7	 ▲ 36.8	 ▲ 16.6	 40.0
CCI-LOBO	 ▲ 12.7	 ▲ 21.3	 ▲ 12.0	 ▲ 15.4	 ▲ 3.8
仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 83.0	 ▲ 55.5	 ▲ 94.7	 ▲ 87.5	 ▲ 50.0
CCI-LOBO	 ▲ 69.5	 ▲ 74.8	 ▲ 67.6	 ▲ 74.5	 ▲ 68.8
従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 26.7	 33.3	 31.5	 16.6	 ±0.0
CCI-LOBO	 22.1	 33.1	 13.8	 16.4	 32.0
資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 19.7	 ▲ 16.6	 ▲ 15.7	 ▲ 16.6	 ▲ 10.0
CCI-LOBO	 ▲ 11.6	 ▲ 7.6	 ▲ 12.6	 ▲ 16.9	 ▲ 8.7

CCI-LOBO

商工会議所早期景気観測(8月速報)

調査期間：2023年8月16日～22日

調査対象：全国の329商工会議所が2,491企業にヒアリング調査を実施

全国の業況

業況DIは、個人消費の回復鈍く、ほぼ横ばい。

先行きは、人手不足の中、一層のコスト増への懸念高まる

8月の全産業合計の業況DIは、▲8.9と前月比から△0.9ポイントの改善

小売業は、インバウンド需要の回復等で売上が好調な百貨店が牽引し、改善した。

サービス業は、夏休み需要で

飲食・宿泊・観光業を中心に

改善も、物価高や天候不順の影響で力強さを欠いた。建設

業は、資材価格の高騰による

コスト増が重荷となり、ほぼ

横ばいとなった。また、製造

業は、エネルギー価格の高騰

によるコスト増で悪化し、卸

売業も、国内需要回復の鈍さ

から引き合いが減少し、悪化

した。物価高で内需に力強さを

欠く中、原材料・エネルギー

小企業の業況は横ばいに留まっている。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

業種別にみると、今月の業況DIは前月に比べ、建設業、小売業、サービス業は改善。製造業、卸売業は悪化した。各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「公共工事を中心に手元工事の件数は増加している。一方で、連日の猛暑による従業員の熱中症予防のため、作業を中断せざるを得ない時間が多くなっており、工期の延長から人件費が増加し、収益を圧迫している。工期の見える化による平準化を図っていく」（一般工事業）「受注数が増え始めており、業況は上向きになってきたものの、材料の仕入れ等の先行支出が多く、資金繰りが課題となっている」（リフォーム工事業）

【製造業】「経済活動の回復に伴い、売上は少しずつ戻ってきているものの、電気代等のコスト増が上回っており、利益を確保できていない。省エネ化に向けて設備の入れ替え等を検討しているが、手元資金が十分でないため、足踏みしてしまっている」（金属加工機械製造業）「中国を始めとする海外からの受注が伸び悩んでいる。輸出を行っている国内の取引先も同様のため、総じて売上は減少している」（無機化学製品製造業）

【卸売業】「台風の影響で取引先への配送が行えず、売上が減少した。加えて、連日の猛暑や天候不順の影響で生鮮品の育成状況も芳しくなく、取扱数量の減少によるさらなる売上減少が危惧される」（農畜産水産物卸売業）「物価上昇の影響で、消費者の生活必需品以外の買い控えが継続しており、取引先からの引き合いの減少が続いている」（衣服・日用品卸売業）

【小売業】「仕入価格の高騰に伴い、価格転嫁を実施。夏休みの旅行需要の恩恵もあり、

売上は増加している。一方で、連日の猛暑で空調使用量が増加しており、電気代高騰による負担が大きくなっている。店内の省エネ化に取り組んでいるものの、追いつかないほど負担となっている」（百貨店）「物価上昇により、消費者が生活必需品以外の支出を抑えており、来客数・客単価ともに激減している」（家具小売業）

【サービス業】「5類移行後、初めての夏休みで予約も増加していたが、台風によるキャンセルが発生し、想定よりも売上は伸び悩む結果となった。繁忙期の売上減少は今後の経営に大きな影響を与えるため、エネルギー価格の上昇や人件費などのコスト増への対応が厳しい」（飲食店）「販路開拓を行い、学生団体等の新規顧客の獲得に成功。一方で、人手不足はより深刻な状況となっている」（宿泊業）

全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

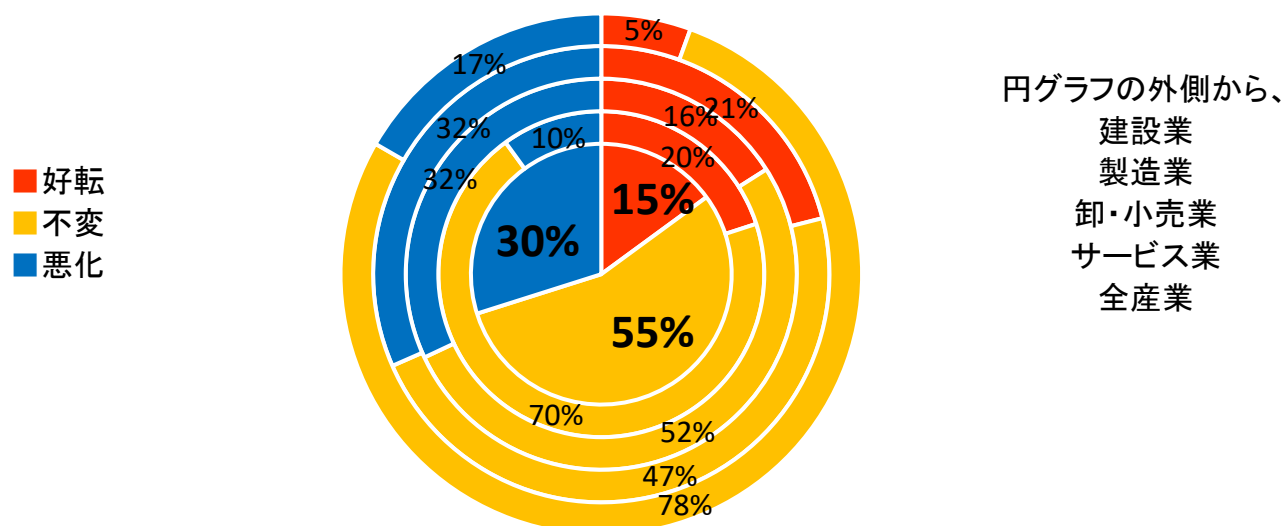
	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
3月	▲14.8	▲24.5	▲18.9	▲22.4	▲19.5	△2.8
4月	▲11.1	▲23.1	▲13.9	▲15.0	▲15.9	△5.6
5月	▲6.2	▲17.0	▲9.2	▲11.0	▲13.8	△11.9
6月	▲8.9	▲17.8	▲8.8	▲13.2	▲16.7	△4.7
7月	▲9.8	▲19.2	▲4.1	▲20.9	▲18.5	△2.4
8月	▲8.9	▲18.8	▲5.6	▲22.6	▲12.7	△3.4
見通し	▲14.0	▲15.3	▲14.6	▲23.0	▲18.6	▲4.5

令和5年（2023年）8月の動向

【業況について】

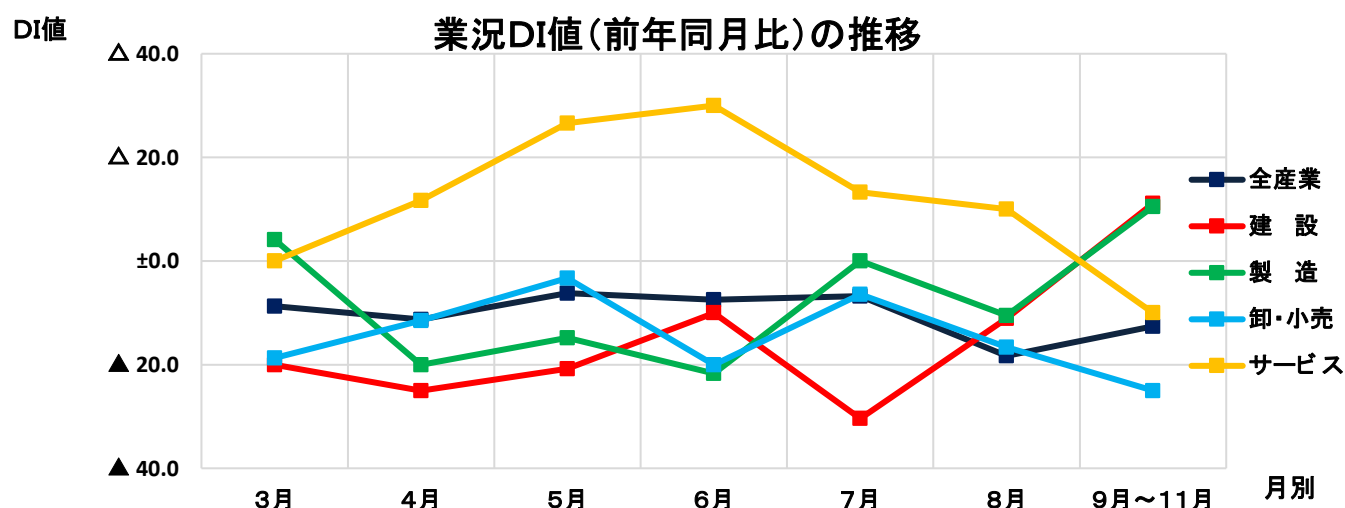
- 8月の全産業合計のDI値（前年同月比ベース、以下同じ）は、▲18.3（前月水準▲6.8）となり、マイナス幅が11.5ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月（9月から11月）の先行き見通しについては、全産業では、▲12.6（前月水準▲14.9）となり、マイナス幅が2.3ポイント縮小する見通しである。

前年同月と比較した今月の業況について



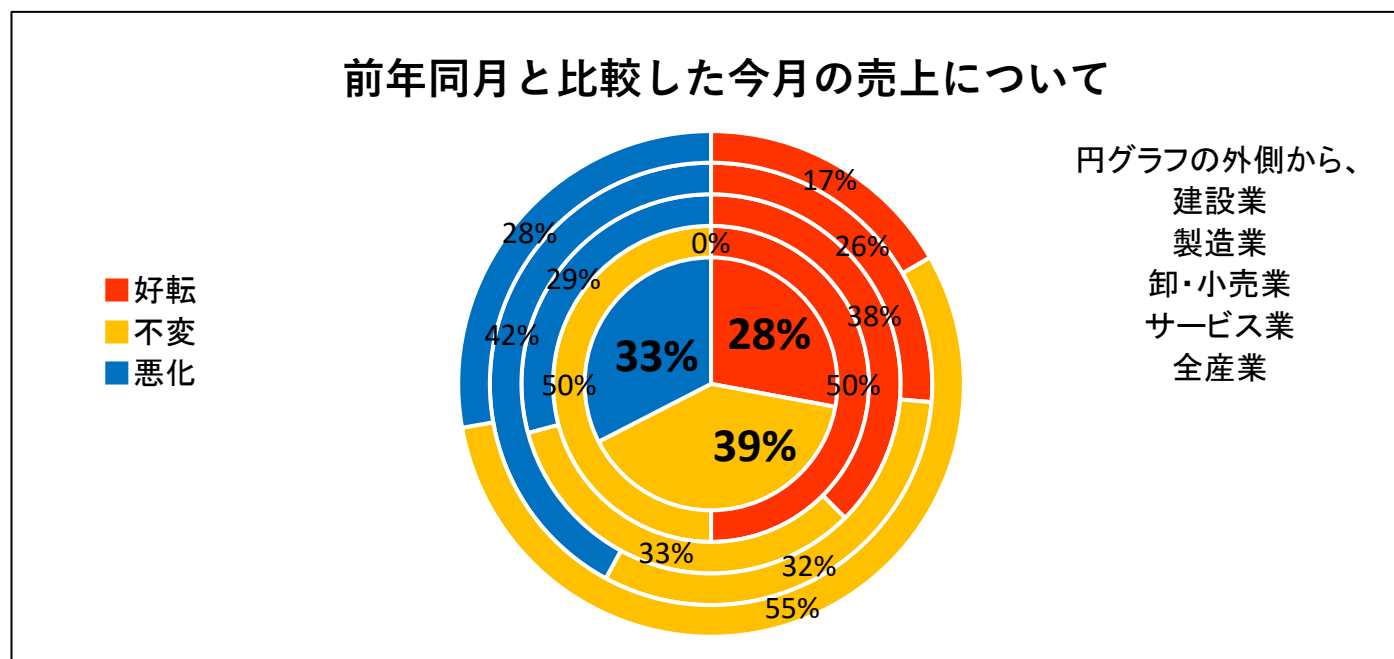
業況DI値（前年同月比）の推移 ※DI = 「好転」の回答割合 - 「悪化」の回答割合

	令和5年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月～11月（8月～10月）	
全産業	▲8.7	▲11.3	▲6.2	▲7.5	▲6.8	▲18.3	▲12.6（▲14.9）	
建設	▲20.0	▲25.0	▲20.8	▲10.0	▲30.4	▲11.1	△11.1（▲8.6）	
製造	△4.1	▲20.0	▲14.8	▲21.7	±0.0	▲10.5	△10.5（▲22.2）	
卸・小売	▲18.7	▲11.5	▲3.3	▲20.0	▲6.4	▲16.6	▲25.0（▲22.5）	
サービス	±0.0	△11.7	△26.6	△30.0	△13.3	△10.0	▲10.0（△6.6）	



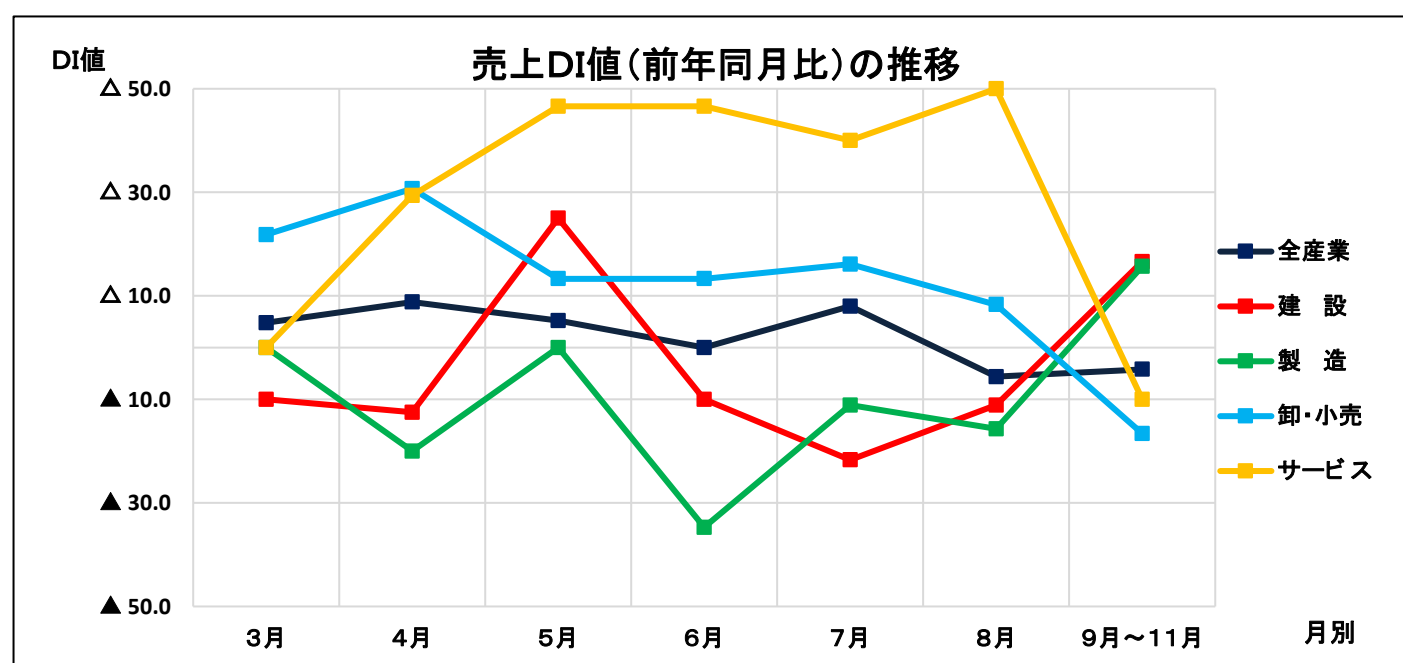
【売上について】

- 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲5.6(前月水準△8.0)となり、マイナス幅が13.6ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲4.2(前月水準△3.4)となり、マイナス幅が7.6ポイント拡大した。



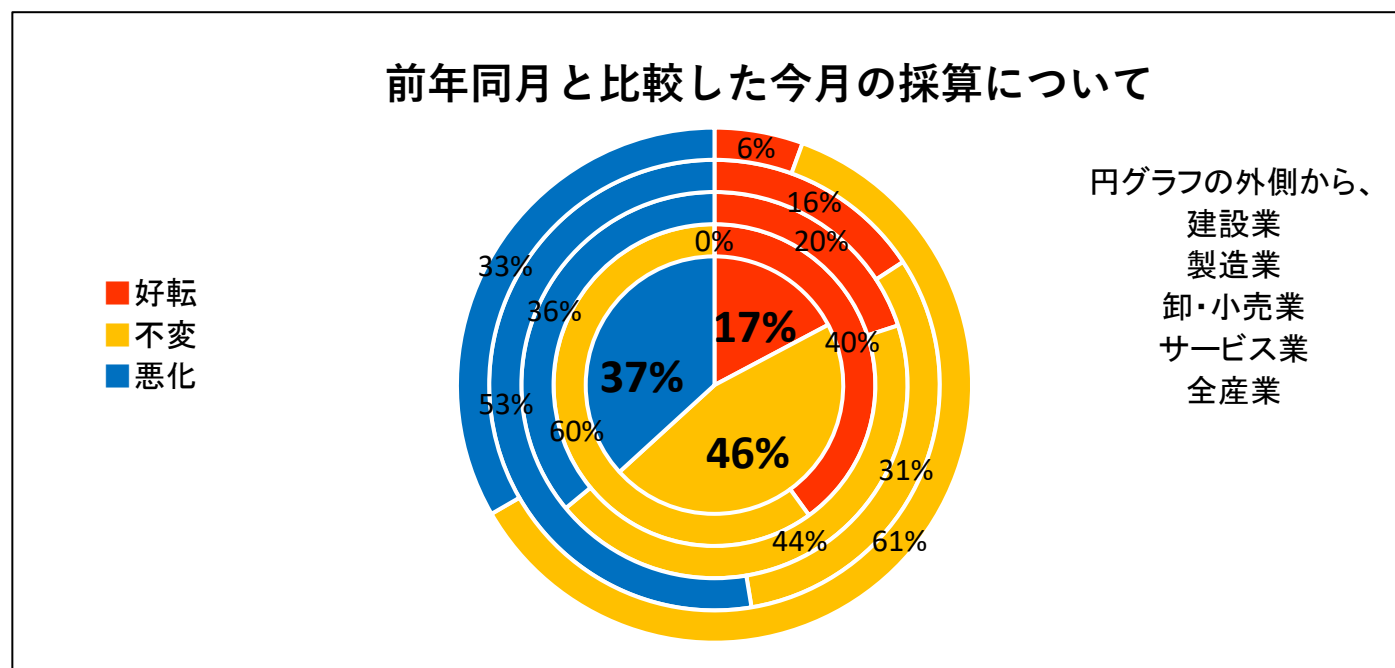
売上DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「増加」の回答割合-「減少」の回答割合

	令和5年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	△4.8	△8.8	△5.2	±0.0	△8.0	▲5.6	▲4.2(△3.4)
建設	▲10.0	▲12.5	△25.0	▲10.0	▲21.7	▲11.1	△16.6(△8.6)
製造	±0.0	▲20.0	±0.0	▲34.7	▲11.1	▲15.7	△15.7(▲5.5)
卸・小売	△21.8	△30.7	△13.3	△13.3	△16.1	△8.3	▲16.6(▲9.6)
サービス	±0.0	△29.4	△46.6	△46.6	△40.0	△50.0	▲10.0(△20.0)



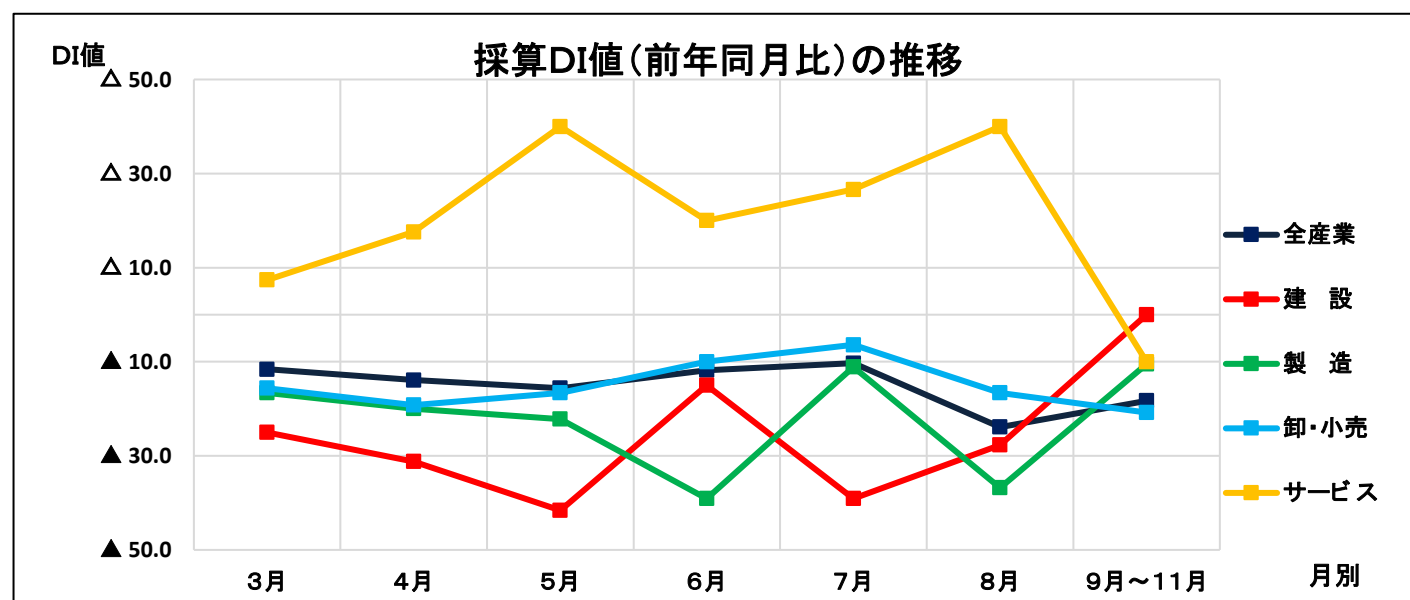
【採算について】

- 8月の全産業合計のD I値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲23.9 (前月水準▲10.3)となり、マイナス幅が13.6ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲18.9/3 (前月水準▲14.9)であり、マイナス幅が3.4ポイント拡大する見通しである。



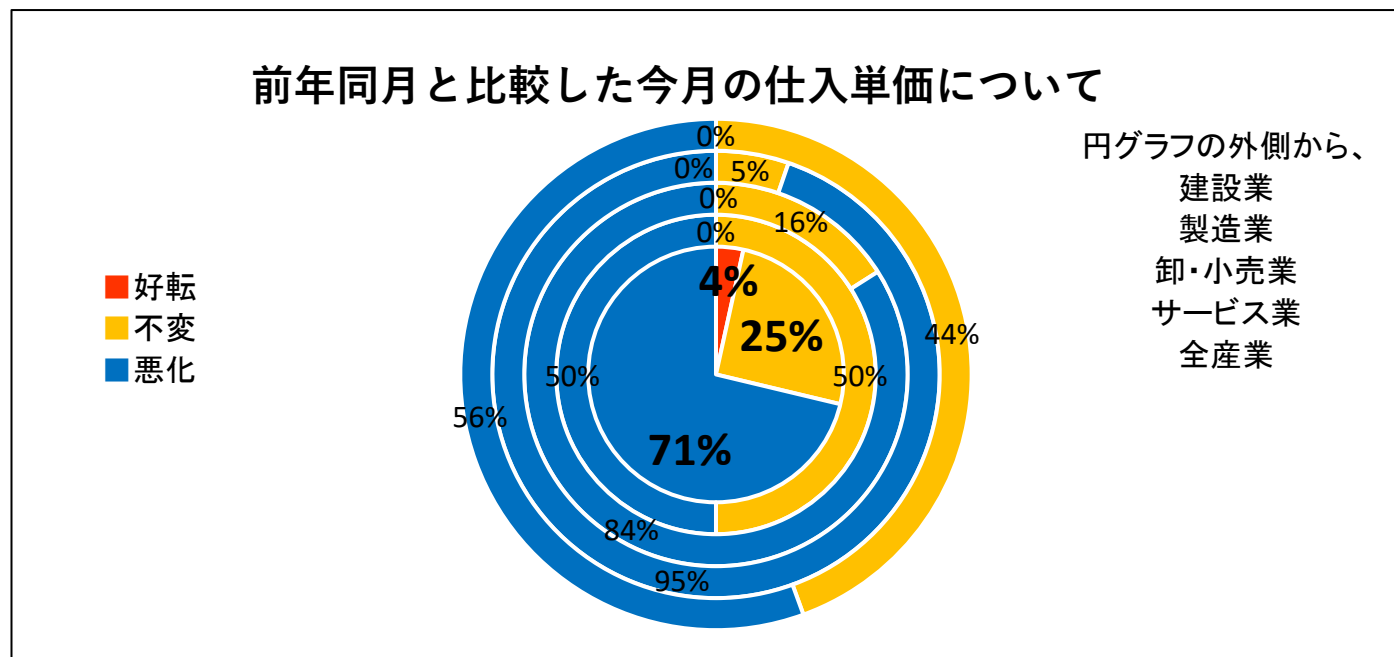
採算D I値(前年同月比)の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

	令和5年						先行き見通し
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月～11月(8月～10月)
全産業	▲11.6	▲13.9	▲15.6	▲11.8	▲10.3	▲23.9	▲18.3(▲14.9)
建設	▲25.0	▲31.2	▲41.6	▲15.0	▲39.1	▲27.7	±0.0(▲21.7)
製造	▲16.6	▲20.0	▲22.2	▲39.1	▲11.1	▲36.8	▲10.5(▲11.1)
卸・小売	▲15.6	▲19.2	▲16.6	▲10.0	▲6.4	▲16.6	▲20.8(▲25.8)
サービス	△7.4	△17.6	△40.0	△20.0	△26.6	△40.0	▲10.0(△13.3)



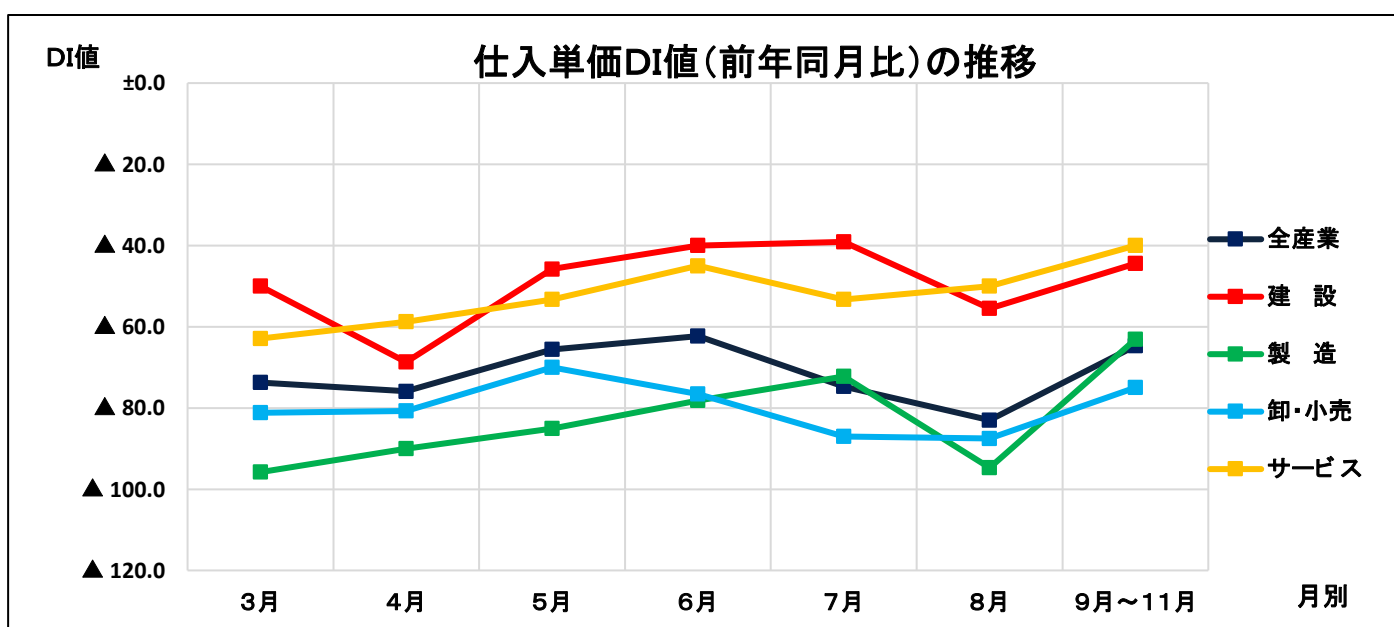
【仕入単価について】

- 8月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲83.0 (前月水準▲74.7)となり、マイナス幅が8.3ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲64.7 (前月水準▲68.9)となり、マイナス幅が4.2ポイント縮小する見通しである。



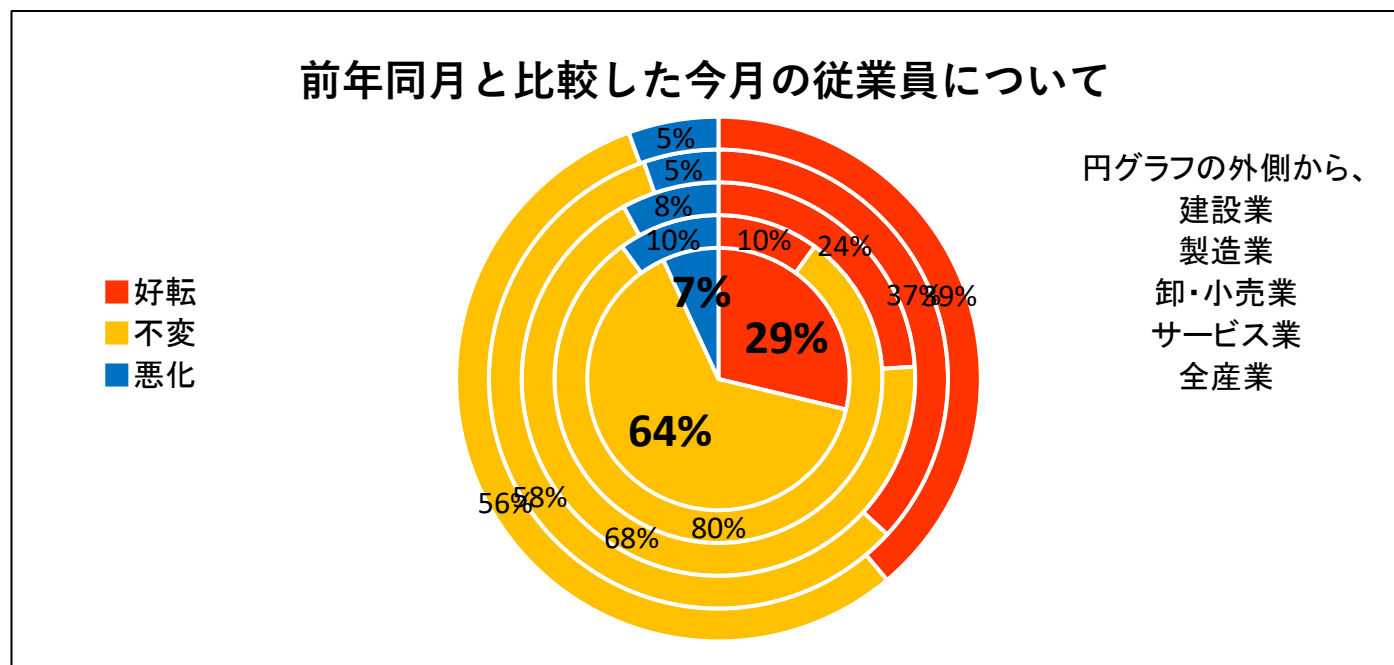
仕入単価D I 値 (前年同月比) の推移 ※DI = 「下落」の回答割合 - 「上昇」の回答割合

	令和5年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月～11月 (8月～10月)
全産業	▲73.7	▲75.9	▲65.6	▲62.3	▲74.7	▲83.0	▲64.7 (▲68.9)
建設	▲50.0	▲68.7	▲45.8	▲40.0	▲39.1	▲55.5	▲44.4 (▲47.8)
製造	▲95.8	▲90.0	▲85.1	▲78.2	▲72.2	▲94.7	▲63.1 (▲66.6)
卸・小売	▲81.2	▲80.7	▲70.0	▲76.6	▲87.0	▲87.5	▲75.0 (▲77.4)
サービス	▲62.9	▲58.8	▲53.3	▲45.0	▲53.3	▲50.0	▲40.0 (▲33.3)



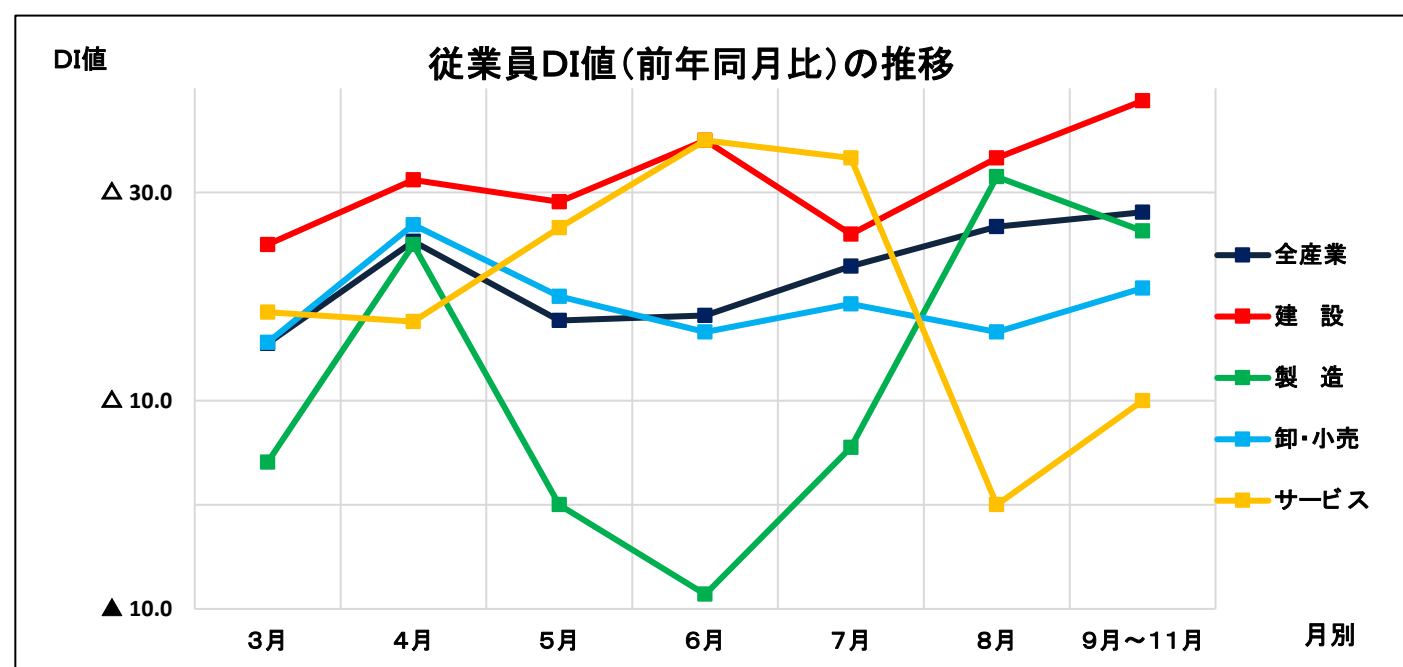
【従業員について】

- 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△26.7(前月水準△22.9)となり、プラス幅が3.8ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、△28.1(前月水準△25.2)となり、プラス幅が2.9ポイント拡大する見通しである。



従業員DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「過剰」の回答割合-「不足」の回答割合

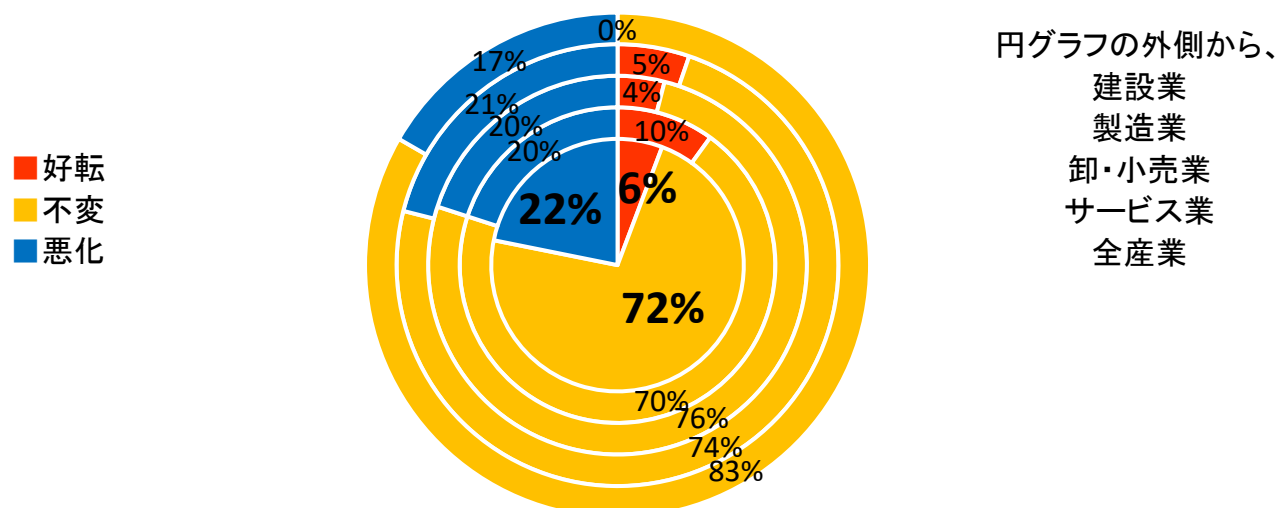
	令和5年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	△15.5	△25.3	△17.7	△18.2	△22.9	△26.7	△28.1(△25.2)
建設	△25.0	△31.2	△29.1	△35.0	△26.0	△33.3	△38.8(△34.7)
製造	△4.1	△25.0	±0.0	▲8.6	△5.5	△31.5	△26.3(△5.5)
卸・小売	△15.6	△26.9	△20.0	△16.6	△19.3	△16.6	△20.8(△22.5)
サービス	△18.5	△17.6	△26.6	△35.0	△33.3	±0.0	△10.0(△33.3)



【資金繰りについて】

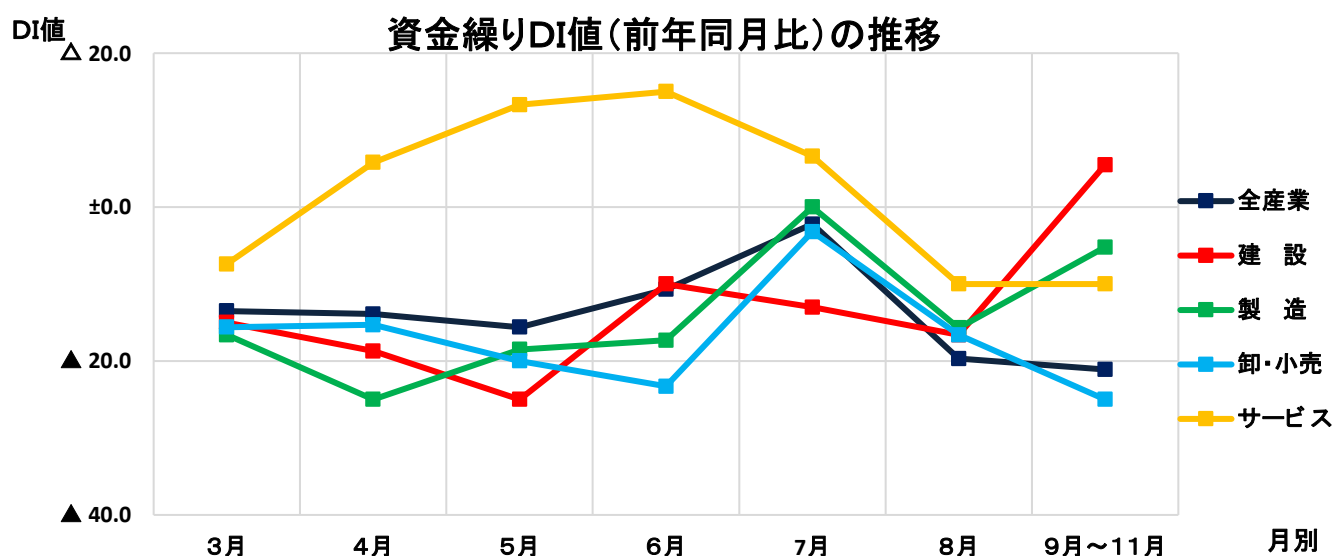
- 8月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲19.7 (前月水準▲2.2)となり、マイナス幅が17.5ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲21.1 (前月水準▲12.6)となり、マイナス幅が8.5ポイント拡大する見通しである。

前年同月と比較した今月の資金繰りについて



資金繰りD I 値 (前年同月比) の推移 ※DI = 「好転」の回答割合 - 「悪化」の回答割合

	令和5年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月～11月 (8月～10月)
全産業	▲13.5	▲13.9	▲15.6	▲10.7	▲2.2	▲19.7	▲21.1 (▲12.6)
建設	▲15.0	▲18.7	▲25.0	▲10.0	▲13.0	▲16.6	△5.5 (▲4.3)
製造	▲16.6	▲25.0	▲18.5	▲17.3	±0.0	▲15.7	▲5.2 (▲11.1)
卸・小売	▲15.6	▲15.3	▲20.0	▲23.3	▲3.2	▲16.6	▲25.0 (▲19.3)
サービス	▲7.4	△5.8	△13.3	△15.0	△6.6	▲10.0	▲10.0 (△6.6)

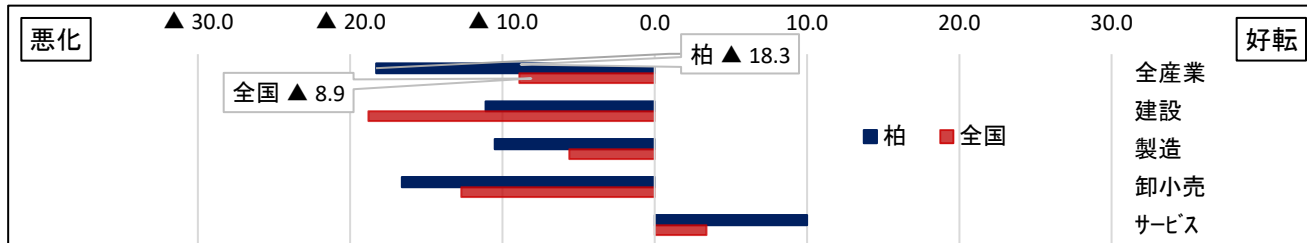


全国（CCI - LOBO）との比較

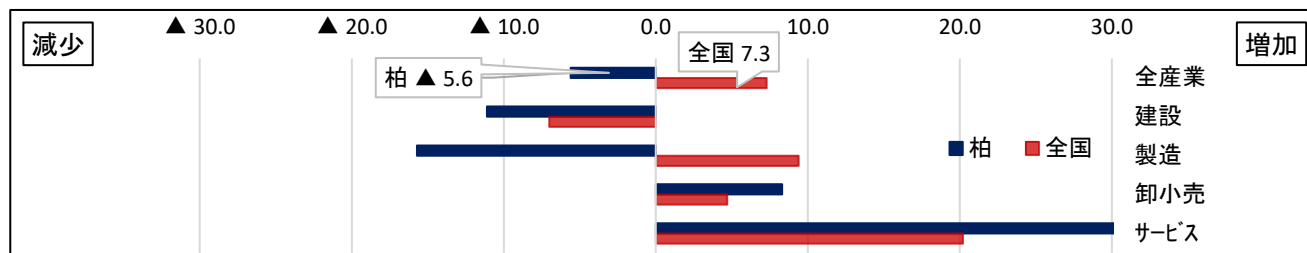
【CCI-LOBOとは】

日本商工会議所が各地商工会議所のネットワークを活用し、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」を全国ベースで毎月調査し、その結果を集計・公表するものです

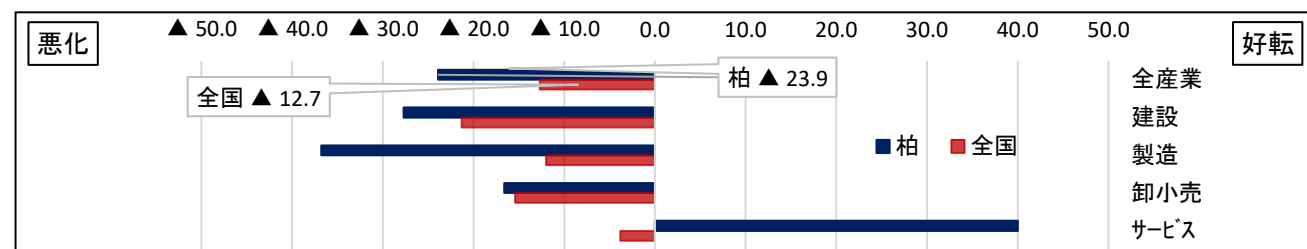
【業況DI】



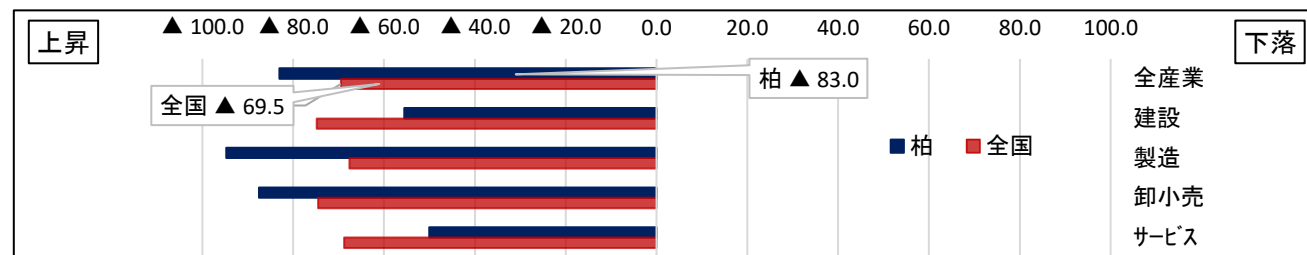
【売上DI】



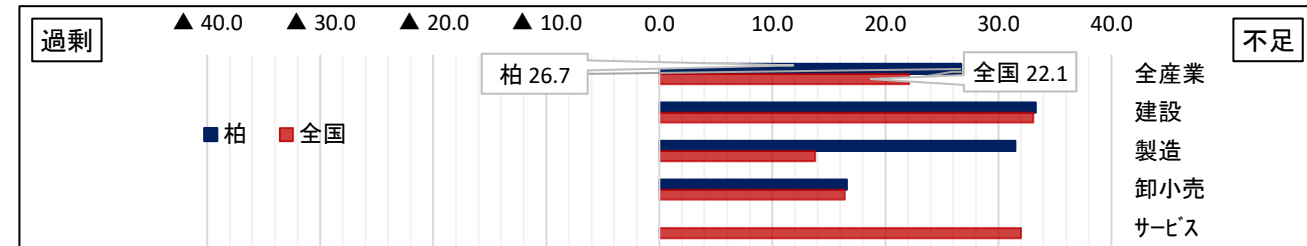
【採算DI】



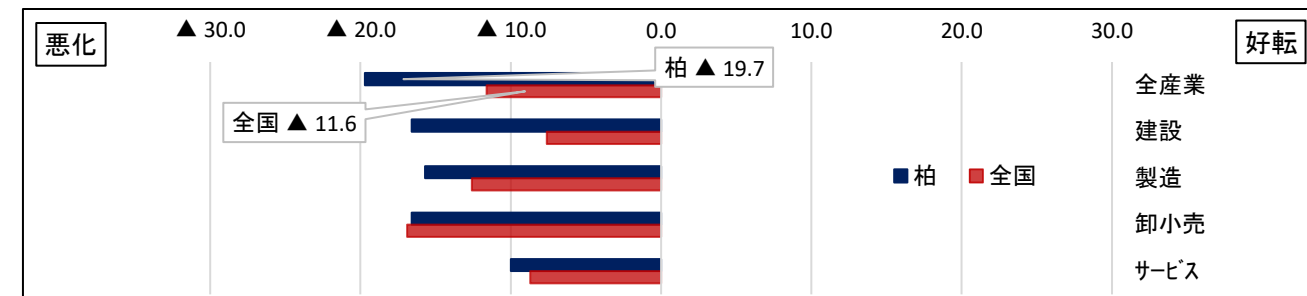
【仕入単価DI】



【従業員DI】



【資金繰りDI】



【業種別】 業界内トピックス

業種別	概 況	業 種
建設業	工事受注額が高額になった反面、材料費の高騰、燃料費の高騰による打撃は大きい。 協力業者からも必要経費として請求されるため、要求に応じなければ仕事を請けてもらえないので受注額が増加しても利益は不変となってしまう。	塗装工事業
	9月～12月で畳工事の需要が増える事を祈ります。	畳工事請負・畳製造販売業
	人手不足が大きく仕事に影響している。 事業承継が出来ずに会社を解散したり、会社を売っている仲間が出始めている 解散した会社の仕事を やってほしいと連絡が来るものの、なかなか断ることが出来ない。 少し後に取りかかるけれども と 話をしても、待っているからやってほしいとのこと。今の仕事でもやっとの人数でこなしているのに新しく仕事が増えるのは嬉しい悲鳴だが、人手不足で 手をつけられないのが現状。	とび
	猛暑で作業中断や、休憩を多めに取るため、ペースダウンは致し方ないが、人件費が増加。	電気工事業
	屋上に太陽光設備があり、晴れていれば十分自家発電でまかなえている。 余剰電力をEV自動車へ充電する計画を進めている。	一般土木建築工事業
製造業	売上が上がっても人手不足の為に外注をフル活用しており、利益がそれほど確保できていない。	一般産業用機械・装置製造業
	地政学的に不安を抱える中国からの生産回帰が各クライアントで現実性を帯びてきた。現時点では厳しい状況に変わりはないが生産回帰が実行されれば事態は好転するのだが・・・	プラスチック加工
	原材料と燃料費の高騰が響いている。	その他の機械・同部品製造業
	ユーザーの在庫調整で売上が減少、数か月続く予測で厳しい状況。 電子帳簿保存法で適格請求発行事業者へ登録対応。	その他の鉄鋼業
	コロナが明けたが、ものの動きは鈍いまま。物価高が影響しているのか、まわりの業者で景気の良い話はあまり聞かない。	その他の化学工業
	7月以降売上高は減少している。利益確保のため仕入に工夫が必要である。社内5Sを進めて無駄をなくし働きやすい職場を目指す。	金属製品

【業種別】 業界内トピックス

業	景況が改善 新型コロナウイルスの収束により経済活動全体がコロナ発生以前に戻り、設備投資が上昇してきている。	
	地域経済が直面している問題点 業務が全国的ですので上記景況感と同様。	一般産業用機械・ 装置製造業
	経営上の問題 工場がせまいので新工場の計画をしておりますが土地が高くて大変。 国際情勢が安全面・経済面共に不安定化していますので細心の注意が必要。	
卸・ 小 売 業	デジタル化改革によって会社存続に対しての課題をクリアしないと先行き は見えてこない	印刷業
	材料費や電気料金、燃料費の高騰に対する値上げが追い付かない。対前 年比売上げは伸びているが、利益は変わらない状況が続いている。更に売 上を伸ばす一方で、コストアップ分の値上げと生産性の向上が急務となっ ている。	自動車付属品製造業
	数年ぶりに制限のない夏季休暇となったが観光需要のあまりない弊社とし ては逆に物販の売上は下がったイメージだった。主原料の値上げの他、様々 なものが値上がりし、決算までもうかっているのか赤字なのかわからなくなっ てきた。	食料卸売業
	売上や収入は微増ながらも、それを上回るエネルギーコスト増影響。	その他の各種商品小売業
	8月に入り移動マーケットが伸長の傾向。お盆休み中は台風の影響もあり客 足が伸びず苦戦。食品のごちそうメニュー関連は低迷する。	大型小売店
	前年同月より売上げは上がっているが採算は悪化。 暑さか旅行か、買物客が減少した。 購買意欲はかなり戻っているので秋冬に期待。	その他の各種商品小売業
	アパレル、旅行関連中心に引き続き堅調に推移するも、酷暑影響もあり入店 客数推移が鈍化傾向。コスト高、人手不足も続き先行き不安有り。	百貨店
	原材料の値上げ分をなかなか価格に転嫁しずらく、利益を圧迫。	洋菓子店
	ガソリン代高騰による旅費交通費や輸送費負担の影響が大きく、無理のな い範囲で車内のクーラー使用を控えて節約するときがある。	飲食料品小売
	猛暑の影響大。冷菓はますますだが他が売上減。	洋菓子店
	海外の景気が終わっているのでは、海外相手の商売はだいぶ厳しいです。国 内は堅調なので、国内事業で頑張っています。	フォークリフト販売、 レンタル、整備

【業種別】 業界内トピックス

サービス業	夏期講習の募集に伴って、新規入会者も増えたが、初めから最大限の科目を受講する生徒と最低限の科目しか受講しない生徒とで二極化している印象。生徒の希望というより、家庭の経済事情が強く反映されていると感じる。	学習塾
	西日本ほどではないが、書き入れ時期であるお盆のタイミングでの台風は、急な雷雨などが影響して客足は予想していたよりも少なかった」	飲食店
	諸仕入れ、建築費の値上がりが続き、売り・買いの問い合わせ件数も減少している。厳しい暑さの影響もあり、人の動きが少なく全体的に低調している。	不動産管理業
	猛暑の影響により来場者が約10%減少。来月より東電の値上げにより電気料金が30%上昇する。	ゴルフ練習場 ゴルフスクール運営
	電子帳簿保存法への対応が課題	地質コンサルタント

調査要領

回答期間

令和5年8月19日 ～ 令和5年9月5日

調査対象

柏市内156業所及び組合にヒアリング

<業種別回収状況>

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	156	88	56.4%
建設	37	23	62.2%
製造	35	23	65.7%
卸・小売	45	24	53.3%
サービス	39	18	46.2%

調査方法と調査票

下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高（出荷高）	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 （経常利益ベース）	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック（記述式）

※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり进行を意味する。

DI = （増加・好転などの回答割合） - （減少・悪化などの回答割合）

※DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調 	好調 	まあまあ 	不振 	極めて不振 